

第 48 回番組審議委員会議事録

1. 開催年月日 令和 2 年 9 月 3 日 (木) 午後 10:30~11:30

2. 開催場所 和歌山県田辺市宝来町 8-21 泉ビル 2 階

3. 委員の出席 委員総数 4 名 出席委員 3 名

出席委員の氏名 野村悠一郎、三角雅彦、小倉拓

欠席委員の氏名 松田悠

放送事業者側出席者氏名 泉清、(リモート参加: 安田豊)

欠席者氏名 大崎健志、濱田由希子、洞周作、角田圭三、生田奈

穂

議題 1) 局側挨拶 (現状報告)

2) 議題

□ 番組聴取

8 月 26 日(水)に放送された 4 時スク! 特別編～桂枝曾丸さんご出演

コーナー～を聴取、ご意見・ご感想

3) その他番組への質問・意見

4) 今後の放送に対する意見・要望

5) その他

局側挨拶・報告

1. 局側挨拶

泉：本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。8月8日は放送開始日で、FM TANABE の誕生日でもあり毎年特別番組を放送しています。昨年は1週間通して深夜放送を行いましたが連日起きるのはしんどいというお声もあり、今年はお盆を除く8月の土曜日夜12時からの4回行いました。大喜利の番組だったり、ラジオドラマだったり様々な形で取り組みました。また、コロナの関係で収まつたりひどくなつたりで7月より自粛気味の空気がありましたが、そんな中でやってきました。もう一つ、9月1日が開局記念日になります。その日に向けて8月31日は放送機材メンテナンスや掃除など、通常放送を止めてやりました。あと、三角先生にお声がけいただいたいて4時スク！に工業高校の生徒がパーソナリティとして番組を担当いただくようになりました。熱心に取り組んでいただいており大変嬉しく思います。ありがとうございます。

安田：三角先生ありがとうございます。4時スク！はFM TANABE の看板番組の1つでもあります、高校生が自ら番組に出てもらうというのが特徴となっています。是非これからも皆さんに、特に高

校生くらいの若い方々にも FM TANABE の事を知ってもらい活用してもらえたなら良いかと思っています。

2. 議題

～番組聴取～

野村：なかなか馴染みがない事ですし、介入しづらい問題だと思います。しかし、活動されている方は熱心な方が多いんです。枝曾丸さんがおっしゃっていたように、社会に送り出すまでと送り出してからの更生に理解を深めてもらう活動を行っているわけです。だけど、実際に足を踏み入れたら大変だと思います。理解してもらえる人も少ないので。

安田：枝曾丸さんもこういった活動をずっとされていてすごいですね。高校生くらいの人に、枝曾丸さんのような言い方でこういった話を聞いてもらるのは良いですね。高校生の中でこういった事を考える機会というのはこれまであまりなかったと思います。ラジオから流れることで他の高校生やリスナーさんに、今の社会にこういった努力をされている方がいるんだと知れる機会になりますし、犯罪歴があっても更生しようとしている人たちを社会に温かく受け入れようとする事は世界中でも非常に重要なテーマでもあるので、一步

ずっとやっていけるきっかけになればすごく良いなと思いました。

小倉：高校生たちの受け答えが上手だなと感じました。4時スク！といえばいつも自分たちの話題でワイワイされていますが、大人の方が入ってもしっかり話せるのは良いと思いました。

泉：自分たちだけで話すときと大人の人と話すときと使い分けが出来ているのかなと思いますね。

三角：人権教育の対象が犯罪歴のある方を学校内でスポットをあてるという事はまずないです。いろんな事象があって差別に注意していきましょうという話もありましたが、高校生がこういう話に触れることで、これからは“ずっと怖い”とか“この人は避けたい”とかの視点が少し変わるきっかけになったと思います。もし枝曾丸さんが学校に講演に来てくれたら嬉しいですが今回ののようなレスポンスは出来ないでしょうけど、ラジオを通して広がっていくと良いと思いました。高校生たちの反応が対応する人によって引き出されていくものがあったり、自分の考えが述べられるといった部分がみえるのが良かった。

3.その他番組への質問・意見

特になし

4.今後の放送に対する意見・要望

安田：番組聴取の意見の中で小倉さんからもお話をありがとうございました、普段の4時スク！では自分たちの周りで起きた他愛もない話題や音楽を取り扱っているわけですが、今回のように他の人の話を聞きながら話をしたり、他の高校と一緒に防災についてディスカッションする事があつてもいいのかなと思います。

泉：今年はコロナの関係で中止になりましたが、ここ数年は田辺市と連携して防災訓練の特番を放送しています。その中で、高校生レポーターとして現地で体験した様子を伝えてもらうという事はやつてもらっています。今後こういった機会があるとやりやすいなと思いますね。

小倉：高校生パーソナリティにいろんな人と関わってもらうのは面白いと思いますね。関わって知る事でもっと田辺を好きになってもらったり、県外に出たとしてもいざれまた帰ってきたいと思えるような事を知ってもらえば。地元の良いところを中継か収録でも良いと思いますが。

泉：田辺市の広報に高校生レポーターがいて広報誌に文章で表現されていますが、そのラジオバージョンで話して伝えるという表現

方法もありますよね。

小倉：若いころに地元を好きだと思ってもらえることがあれば良いなと思います。

三角：今 4 時スク！に参加している一人に、去年広報の高校生レポーターをやっていた子がいます。学校の中だとどうしても“対先生”になるので意見も習慣になってしまっていてなかなか思い切った事も言いにくかったりすると思います。こういう風にしていろんな意見を言えたり、対応していけるんだなと思いました。こういう機会やテーマを与えていくことで伸びていくなと思いました。

泉：4 時スク！とまた違った形で、いろんな課題をもって話し合う場を作るきっかけがラジオとして出来るのかなと思いました。

5.審議機関の答申または改善意見に対して採った措置及びその年特になし

6.審議機関の答申または意見の概要の公表方法

内容：審議内容について公表

方法：ホームページ掲載 (<http://www.fm885.jp/>)

7.その他参考事項

特になし